

学校教育目標

芽ばえ輝く ～ 未来を拓く 5つの芽 ～

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまわりを守る子(信頼の芽)

4月8日に行われた入学式、9日に行われた始業式の様子についてお伝えします。

入学式

新一年生を迎え、入学式を行いました。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、式が進むにつれて笑顔も見られるようになりました。

校長先生は式辞の中で、「元気にあいさつをすること」「人の話をよく聞くこと」「友だちを大切にすること」の三つの大切なことについて話しました。あいさつは人と人をつなぐ大切な言葉であること、先生や友だちの話をしっかり聞くことで新しい学びが広がること、そして友だちを思いやる気持ちを大切にしてほしいことを伝えました。

式では、担任の先生から名前を呼ばれると、一年生は元気よく返事をすることができました。新しい学校生活への期待に胸をふくらませている様子が伝わってきました。新一年生のみなさん、ようこそ宝小学校へ。これからの学校生活が楽しく実り多いものになることを願っています。



対面式

宝小学校は新しく5名の先生方をお迎えしました。

横井 里枝(よこい りえ) 教頭先生
祖父江 麻由子(そぶえ まゆこ) 先生
石本 桃子(いしもと ももこ) 先生
飯尾 早智(いいお さち) 先生
駒田 那菜(こまだ なな) 先生



始業式

○校長式辞(一部省略)

春休みが終わり、今日こうして元気な皆さんの顔を見ることができ、とてもうれしく思います。新しい学年になり、「今年はこんなことを頑張りたい」「新しいことに挑戦したい」と考えている人も多いことでしょう。学校は、皆さん一人一人が成長する大切な場所です。この一年で、心も体も大きく成長していくことを先生たちは楽しみにしています。

宝小学校の教育目標は「芽生え輝く」です。皆さん一人一人の中には、まだ見えていない力や可能性という“芽”があります。その芽は、毎日の学習や友達との関わり、さまざまな体験を通して少しずつ大きくなり、やがてきれいな花を咲かせます。

そのために、皆さんに大切にしてほしいことを三つお話しします。

一つ目は、「あいさつ」です。元気なあいさつは、人の心を明るくします。「おはようございます」「ありがとうございます」「さようなら」などの言葉を、自分から気持ちよく言える人になってください。

二つ目は、「チャレンジすること」です。新しいことに挑戦するときは、少し勇気がいります。失敗することもあるかもしれませんが、でも、挑戦した経験は必ず自分の力になります。あきらめずに挑戦し続けてほしいと思います。

三つ目は、「友達を大切にすること」です。学校にはたくさんの友達がいます。困っている人がいたら声をかけたり、優しい言葉をかけたりして、お互いに助け合える学校にしていきたいと思います。

今年一年、みんなで力を合わせて、楽しくて笑顔いっぱい宝小学校をつくっていきましょう。

先生たちも、皆さんが安心して学び成長できるよう全力で応援していきます。今年度が、皆さんにとって素晴らしい一年になることを願っています。

